

市民にとって身近な地域ごとに、目指す将来像と整備方針を示します。

- ◆地域別構想の目的など
- ◆地域別構想

北部地域

中央地域

西部地域

南部地域

## 【第4章 地域別構想】の構成

1.地域別構想の目的など					
	2-1 北部地域	<ul> <li>(1)地域の現況特性</li> <li>(2)地域の課題 ・土地利用 ・交通体系 ・公園・緑地 ・その他</li> <li>(3)地域の将来像</li> <li>(4)地域の整備方針 ・土地利用 ・交通 ・公園・緑地 ・交流 ・ 公園・村田</li> <li>・ 公園・一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>			
	2-2 中央地域	(1)地域の現況特性 (2)地域の課題 ・土地利用 ・交通体系 ・公園・緑地 (3)地域の将来像 (4)地域の整備方針 ・土地利用 ・交通 ・公園・緑地 ・交流 ・その他 ●地域整備構想図			
2.地域別構想	2-3 西部地域	(1)地域の現況特性 (2)地域の課題 ・土地利用 ・交通体系 ・公園・緑地 ・その他 (3)地域の将来像 (4)地域の整備方針 ・土地利用 ・交通 ・公園・緑地 ・交流 ●地域整備構想図			
	2-4 南部地域	<ul> <li>(1)地域の現況特性</li> <li>(2)地域の課題 ・土地利用 ・交通体系 ・公園・緑地 ・その他</li> <li>(3)地域の将来像</li> <li>(4)地域の整備方針 ・土地利用 ・交通 ・公園・緑地 ・交流 ・ 地域整備構想図</li> </ul>			

# 第4章 地域別構想

#### 1. 地域別構想の目的など

全体構想では、「都市づくりの目標と将来像」の実現に向けた部門別の方針を総合的・体系的に示しました。

都市計画マスタープランの具体的な取り組みを進めるためには、全体構想の実現ととも に地域ごとの様々な取り組みが必要となります。

地域別構想では、将来都市構造における地域のまとまりを基本に、本市の都市の成り立ち、地域の土地利用や特色を考慮し、市域を 4 つの地域に区分し、将来都市構造で位置づけられた拠点や軸との整合性を図りながら、各地域の現状と課題を整理するとともに、地域特性を踏まえた将来の都市づくりの方向を示します。

#### 【全体構想と地域別構想の関係】



#### ≪全体構想≫

「都市づくりの目標と将来像」の実現に向けた各部門別の方針を総合的・体系的に示します。

#### ≪地域別構想≫

市域を4つの地域に区分し、各地域の現状と課題を整理するとともに、地域特性を踏まえた都市づくりの将来方向を示します。

地域区分	地域の範囲		
北部地域	明戸、大寄、八基、豊里地区		
中央地域	深谷、幡羅、上柴、南、岡部中央・北東部地区		
西部地域	藤沢、岡部南部・北西部地区		
南部地域	川本、花園地区		

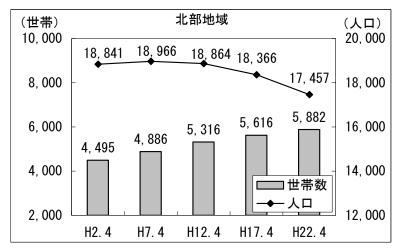
### 2. 地域別構想

#### 2-1 北部地域

#### (1) 地域の現況特性

- ・北部地域は、市の北側に位置し、利根川を挟んで群馬県と接しています。
- ・平成22年4月時点の北部地域の人口は17,457人、世帯数5,882世帯であり、世帯数は増加傾向ですが人口は減少傾向にあります。
- ・都市計画としては、都市計画区域外の区域(八基地区・豊里地区)と市街化調整区域\*(明戸地区・大寄地区)から構成されています。
- ・利根川をはじめ、小山川、清水川、唐沢川、備前渠用水路など、河川、用水路が数多く流れており、また、集落部以外は農地が広がり、水と緑豊かなのどかな田園風景となっています。
- ・幹線道路としては、北東方向に上武国道、東西方向に深谷バイパス、主要地方道本庄妻沼線 が通っており、南北方向には、主要地方道伊勢崎深谷線、一般県道弁財深谷線が通っていま す。
- ・主な公園としては、青淵公園、北部運動公園、明戸農村公園があり、また、利根川沿いに利根川緑地公園(豊里グラウンド、中瀬ソフトボール場、高島グラウンド)があり、利根川自転車道が整備されています。
- ・渋沢栄一の生誕の地や渋沢栄一記念館、誠之堂、清風亭、ホフマン輪窯6号窯など渋沢栄一関連の歴史的な資源が豊富にあります。

#### 【北部地域の人口・世帯数の推移】





深谷ねぎ



誠之堂

	地域別懇談会での主な意見	課題
	【生活利便施設の充実】	・地区単位で公民館が整備されており、施設周囲の
	・児童や高齢者が集える場が不足している。	スペースの広場的な活用や、子どもや高齢者のた
土	・各公民館に公園設備があると良い。	めのプログラムや設備などを充実することが必要で
地	Z	す。
利		・都市計画区域外と市街化調整区域ですが、コミュ
用	・人口が減っており、空き家が増えている。	ニティの維持に必要な一定の住宅整備を行えるよ
	・子どもの数が減少している。	うにすることが必要です。
	【南北軸の充実】	・主要地方道伊勢崎深谷線は、交通量も多く、本道
	・主要地方道伊勢崎深谷線の改善が望まれる。	路と接続する都市計画道路西通り線が未整備のた
	・西通り線の計画を推進してほしい。	め負荷がかかっており、南北方向の動線の強化が
		必要です。
	【身近な道路の安全性の確保】	・幹線系道路において自転車歩行者道を充実する
交	・通学路や自転車交通の安全性の向上が必要	とともに、生活道路については、交差点の隅切り、
通	である。	舗装、拡幅などの改善が必要です。
体	・狭隘道路*が多く、道路網が不十分である。	
系	【サイクリングロードの整備】	・地域の観光資源の活用や交流人口の増加のため
	・サイクリングロード(利根川~小山川~青淵公	にも、自転車ネットワークの整備が重要です。
	園)を整備してほしい。	
	【くるリンバスの充実】	・公共交通の充実に向けては、多様な主体による地
	・利用者の増加のためには、くるリンバスが集落	域の公共交通を支える新たな仕組みづくりも視野
	の中まで運行されることが望まれる。	に入れ検討することが必要です。
	【公園の利便性向上】	・既存公園の改善や拡充などにより、より利用しやす
	・子どもが遊べるような身近な公園が少ない。	い公園としていくことが必要です。
公	・青淵公園の有効活用を考えるべきである。	・都市計画公園として整備された青淵公園を有効活
園	・北部運動公園に遊具があると良い。	用するために、地域のシンボルとしてイベントなど
- -	【河川管理の改善】	で利用するなどが考えられます。
緑	・利根川、小山川、七間堀、備前堀などの維持	・河川敷及び公園の維持、管理については、市民と
地	管理が不十分である。ボランティア活動を活用	の協働による維持管理方策の検討が必要です。
	することが望ましい。	
	・川の水をきれいにする必要がある。	
	【農業の活性化】	・農業振興担当部署と連携しながら、体験農園としての近界を、農業振興を持ちなるという。
7	・農地整備がされていない小規模農地や遊休農	ての活用や、農業振興策を推進することが必要で
その	地が見られる。	す。
他	・農道が整備されていない。 【まちづくりのテーマ】	
זע	- 【まらつくりのナーマ】 - この地域では湧き出ている水や川を活用し、水	
	_ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	
	をテーマとしたまちづくりが良い。	

### (3) 地域の将来像

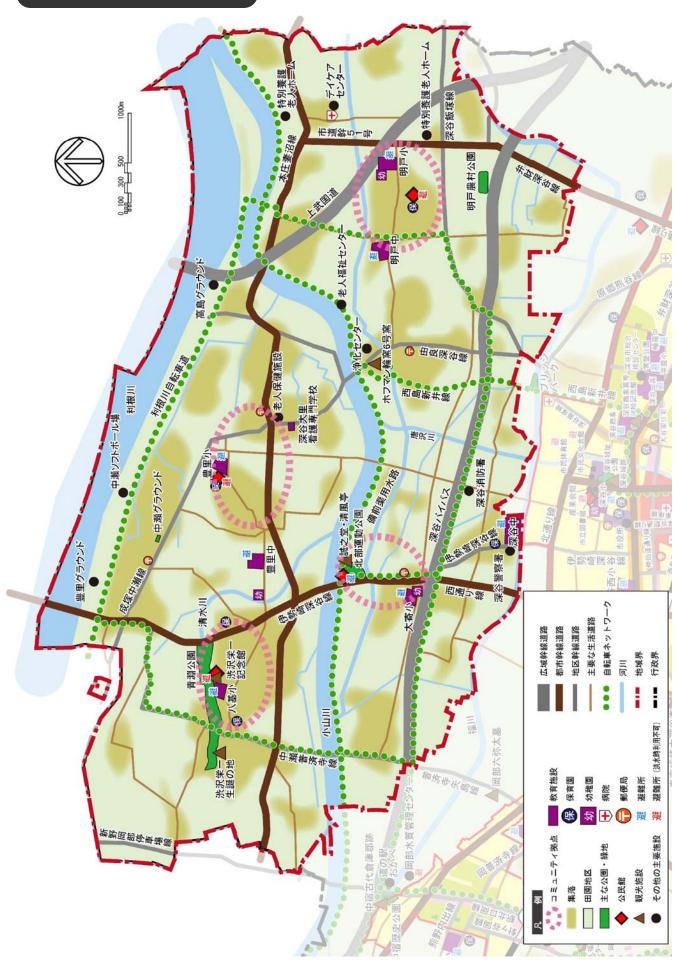
# **。恵の水と歴史が息づくやすらぎの田園地域**

- ○利根川、小山川などの地域に潤いをもたらす河川景観、優良農地が広がる田園風景、渋沢 栄一関連の歴史資源などの地域の特性を良好な状態で永続的に維持できるよう市民と協 働して取り組みます。
- ○安全な道路及び自転車ネットワークの充実、公共交通などにより、地域の移動を多様な手段で確保することで、北部地域の交流人口の増加と活性化を図ります。

### (4) 地域の整備方針

	(4) 地域の登備方針			
土地利用	集	<ul> <li>●地区単位でコミュニティ拠点の形成</li> <li>・明戸、大寄、八基、豊里の各地区においては、公民館などの公共公益施設と的な生活利便施設などが集まり、地区コミュニティの中心となる拠点の形成を目ます。</li> <li>●集落部の環境改善</li> <li>・集落部については、集落内の道路、排水施設などの生活環境の整備を進め、コニティを維持できる居住環境の形成を図ります。</li> </ul>		
	田	袁	・今後とも農業環境の維持、向上を図りながら、農地と集落による田園景観の保全を	
	地	区	図ります。	
交		通	<ul> <li>●幹線道路の整備</li> <li>・地域の南北軸強化のため、主要地方道伊勢崎深谷線の交差点改良や拡幅整備などを県に要請します。</li> <li>・幹線道路については、通学路になっているなど優先性の高い順に自転車歩行者道の設置などを進め、歩行者及び自転車の安全性の向上を図ります。</li> <li>●生活道路の改善</li> <li>・主要な生活道路については、舗装、拡幅、隅切りなどの改善を進めます。</li> <li>●公共交通の充実</li> <li>・公共交通が維持できることを基本にした上で、できるだけきめ細かな公共交通を実現するために、多様な主体による地域公共交通のあり方やバス利用促進策などについて検討していきます。</li> </ul>	
公園・緑地		录 地	<ul> <li>●公園・河川の有効活用</li> <li>・利根川及び小山川などについては、自然を活かした河川整備、水質の改善、遊歩道の整備、緑化の推進、堤防美化を管理主体に要請します。</li> <li>・青淵公園は、地域のシンボルとなる公園として、イベントなどに積極的に活用していきます。</li> <li>●既存公園の改善</li> <li>・既存の公園について、必要に応じて改修、改善などを加え、より利用しやすい公園としていきます。</li> <li>●地域との協働による維持・管理</li> <li>・河川敷や公園について、清掃、緑化、不法投棄防止パトロールなどの維持、管理を市と地域で役割分担を図りながら、地域と協働で行います。</li> <li>●緑化の推進</li> <li>・道路や公園、公共施設などの公共空間においてできるだけ緑化を推進するとともに、民有地での生垣化や花木の緑化を働きかけます。</li> </ul>	
交		流	<ul> <li>●自転車による交流ネットワークの創出</li> <li>・北部地域の歴史資源(渋沢栄一記念館、誠之堂、清風亭など)や公園などをサイクリングでめぐり、田園環境を楽しめる周遊ルートを設定し、案内板などのサインの整備も行い、自転車ネットワークの形成を目指します。</li> <li>●公民館での活動の充実</li> <li>・各公民館を活用し、施設周囲のスペースの広場的な活用、地域住民活動の拠点としての参加プログラムを実施し、市民の集いの場として機能させる取り組みを進めます。</li> <li>●農業による交流</li> <li>・農に親しむ場や地域活動の場として、体験農園などの拡充を検討します。</li> </ul>	

### 北部地域 地域整備構想図

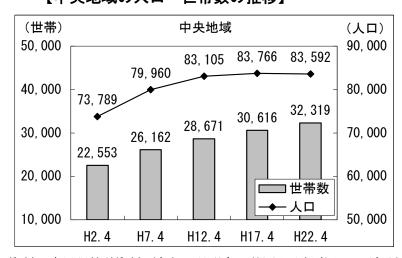


#### 2-2 中央地域

#### (1) 地域の現況特性

- ・中央地域は、JR高崎線沿線の市街地を中心とした地域であり、地域内に深谷駅及び岡部駅があります。また、駅を中心とした市街化区域とその周辺の市街化調整区域から構成されています。
- ・平成22年4月時点の中央地域の人口は83,592人、世帯数32,319世帯であり、4地域区分の中では最も人口が集中しており、人口は横ばい、世帯数は増加傾向にあります。
- ・東西方向に福川が、南北方向には唐沢川が流れており、地域に潤いを与えています。唐沢川 沿いには桜並木があり、桜の名所となっています。
- ・都市幹線道路としては、東西方向に一般国道 17 号、都市計画道路南通り線が通っており、 南北方向には、都市計画道路東通り線、都市計画道路中央通り線、北武蔵広域農道(花植木 街道)が通っています。
- ・主な公園として、仙元山公園、上柴中央公園、東公園、深谷城址公園、スマイルパーク、東 方公園、柴崎公園、常盤公園、下台池公園、ブリッジパーク、中宿歴史公園などがあり、土 地区画整理事業が実施されている地区は、公園が充足しています。
- ・深谷市役所をはじめ、市立図書館、市民体育館などの公共施設が深谷駅北側の市街地に集積 しているほか、埼玉工業大学、東都医療大学及び高等学校が5校あり、学校教育施設も集中 しています。
- ・中山道周辺には、古くからの建物や蔵などが残っており、一部、深谷シネマやれんがホール などとして活用されています。

### 【中央地域の人口・世帯数の推移】





唐沢堤の桜



深谷城址公園

	地域別懇談会での主な意見	課題
土地利用	<ul> <li>【にぎわいの創出】</li> <li>・歩いて楽しめる中心街づくりが望まれる。</li> <li>・駅舎に店舗やレストランなどを導入して有効活用するべきである。</li> <li>・人口増加に向けて店舗併用住宅の立地を促進してほしい。</li> <li>・上柴地区に商業軸をつくるべきである。</li> <li>【基盤整備の促進】</li> <li>・耕地整理上の住宅地は基盤が未整備である。</li> <li>【農業地域の維持】</li> </ul>	<ul> <li>・中心市街地については、多面的な施策を実施することにより、歴史的な資源などを活用しながら活性化を図ることが必要です。</li> <li>・まちなかでの居住者の増加に向け、都市型住宅などの建設の促進が望まれます。</li> <li>・駅周辺と上柴地区とで商業の機能分担をしつつ、双方の集客力を高められるようにすることが必要です。</li> <li>・市街化区域で、道路、公園などの基盤が不足している地区については、住宅整備などを行えるようにすることが必要です。</li> <li>・農業振興担当部署と連携しながら、農業振興策を</li> </ul>
	・農業地域の維持】 ・農業地域を現状維持し、生産性の高い営農環 境を確保するべきである。	・展業振興担当部者と連携しなから、展業振興束を推進することが必要です。
交通体系	【都市計画道路の整備】 ・都市計画道路北通り線、都市計画道路西通り線の計画を推進してほしい。 【道路の改善】 ・歩道や交差点などを改善してほしい。 ・深谷駅南口周辺は通勤、通学時に踏み切りや道路が混雑するため、改善してほしい。 ・生活道路を拡幅してほしい。 【岡部駅の始発構想】 ・岡部駅始発の構想や運行本数の増加などを実現させてほしい。 【〈るリンバスの充実】 ・くるリンバスの充実】 ・くるリンバスは、地域をくまなく回れるような路線設定にしてほしい。	<ul> <li>・未整備の都市計画道路については、事業推進に向けた検討が必要です。</li> <li>・幹線道路については、交差点改良や歩道の充実を図るとともに、生活道路については、交差点の隅切り、舗装、拡幅などの改善が必要です。</li> <li>・市内の鉄道の利便性向上のため、鉄道輸送力の増強に関する要請を関係機関に行うことが必要です。</li> <li>・公共交通の充実に向けては、多様な主体による地域の公共交通を支える新たな仕組みづくりも視野に入れ検討することが必要です。</li> </ul>
公園・緑地	【公園の充実】 ・中心部に公園が少ないので、憩いの場となる公園がほしい。 ・目的がはっきりした特徴のある公園や地域に合った公園を整備してほしい。 ・公園は整備して終わりではなく、そこで市民がどのように使うかが大切である。	<ul> <li>・まとまった空閑地の少ない中心部では、敷地内を活用し、オープンスペースを確保することが求められます。</li> <li>・公園の配置バランスを踏まえ新規公園整備を検討するとともに、既存公園の改善などにより、より利用しやすい公園としていくことが必要です。</li> <li>・公園などの利用促進や維持、管理の質を高めていくためには、市民との協働により行っていくことが望まれます。</li> </ul>

#### (3) 地域の将来像

# 深谷の発展を牽引する文化の香り高い中核・交流地域

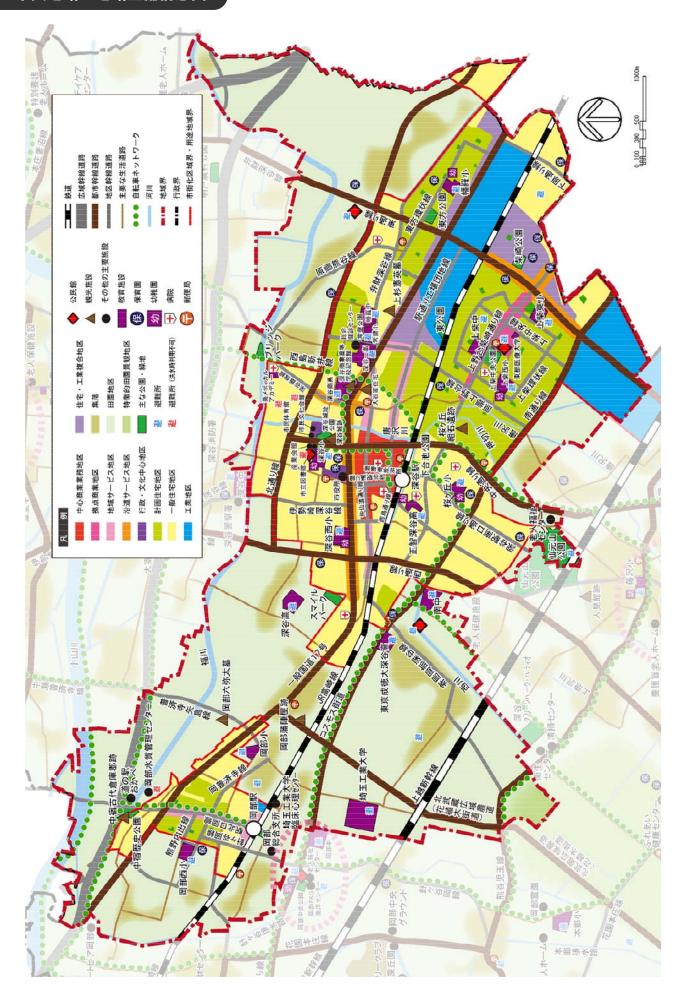
- ○本市の顔として、また、深谷市行政の中枢地区としてふさわしい機能的で魅力的な市街地の 形成を目指し、まちなかに活気とにぎわいを生み出すための活性化策の推進や、良好な居住 環境の創出など総合的な都市づくりを進めます。
- ○駅や市役所をはじめ公益性の高い施設が集中しており、市全体のユニバーサルデザイン化を 先導する都市づくりを進めます。

### (4) 地域の整備方針

(4	(4) 地域の整備方針		
土地利用	中心商業業務地 区(深谷駅周辺)	<ul> <li>●まちなかを生活街として再生</li> <li>・歴史的な資源を保全、活用しつつ、本市の玄関口、中心地としての魅力と特長ある空間や景観の形成を図ります。そのため、深谷 TMO*を中心としたまちなかへの集客を促進するソフトな取り組みへの支援なども継続して行います。</li> <li>・中央土地区画整理事業の推進を目指し、まちなかでの居住者の増加に向け住宅建設の促進を図ります。</li> <li>・中心市街地から連続している中山道などの沿道については、日常のサービスに資する商業や生活利便施設の充実を目指します。</li> </ul>	
	拠 点 商 業 地 区 (上柴地区)	<ul> <li>●商業・交流複合拠点として、地域に愛される地区の形成</li> <li>・市全体の商業拠点であると同時に、地域住民への生活サービスに資する機能を担う地区であることから、周辺地域の日常生活の利便性の向上に向けた機能の充実を目指します。</li> <li>・深谷駅周辺の歴史性のある界隈型の商業地と大型商業施設、沿道商業を中心とした上柴地区とで双方の特性を明確にし、役割分担を図り、互いに集客力を高められるよう交通ネットワークやイベントなどの連携を充実します。</li> </ul>	
	地域サービス 地 区 (岡部駅周辺)	<ul> <li>●日常のサービスに資する商業や生活利便施設の集積</li> <li>・駅北口岡線沿道の商業地については、地域住民への日常の生活サービスに資する機能の充実を目指し、周辺地域の拠点的な役割を担う地区としての集積を図ります。</li> <li>・駅へのアクセス性の向上などにより交通利便性を高め、駐車場や駐輪場の整備などにより交通結節点としての機能強化を図ります。</li> </ul>	
	沿道サービス 地 区	●沿道サービス型の商業の集積 ・一般国道 17 号沿道や東通り線沿道などでは、今後も商業の集約立地を図るとともに、周辺地域の環境や円滑な交通処理に十分配慮するようなルール化をあわせて検討します。	
	行政・文化 中 心 地 区	●市の行政・文化の中心として、利便性とシンボル性の高い地区の形成 ・市役所や文化会館などの集積する地区周辺については、道路などのユニバーサルデザイン化、緑化の推進などにより地域としての緑の総量の増加、景観的な質の向上(個々の施設のデザイン化やまちなみとしての調和)など、今後の都市づくりを先導するような整備を、改修などの時期にあわせて進めます。	

		●良好な居住環境を維持・形成
	計画住宅	・岡中央、国済寺、上柴、東方などの土地区画整理事業区域や公的宅地開発
	地区	地区*については、既存の基盤を活かして良好な居住環境の維持、保全に努
	(基盤整備済•	めるとともに、地権者などの合意形成が図られる地区については、地区計画や
	施行中含む)	建築協定などを活用し、宅地周りの緑化や調和のとれたまちなみ形成を目指し
		ます。
		●生活基盤の整備と居住環境の改善
	一般住宅	・既成市街地で、道路、公園などの基盤が不足している地区については、生活
	地 区	道路の拡幅や公園、緑地の整備を順次進めることにより、居住環境の改善に
土		努めます。
地		●工業施設の分布や工業地域での配置を維持
利	工業地区	・工業の立地、集積が進んでいる地区及び用途地域が工業専用地域の地区に
用	工未地区	ついては、その機能を維持し、今後も周辺環境及び環境保全に配慮していくも
		のとします。
	住宅・工業	●住宅・工業各々の機能の共存
	複合地区	・上柴東、東方などの用途地域が準工業地域の住宅、工業が混在する地区に
		ついては、生活環境への配慮を促し、双方の機能の共存を図ります。
		●集落部の環境改善
	集落	・集落部については、集落内の道路、排水施設などの生活環境の整備を進め、
		コミュニティを維持できる居住環境の形成を図ります。
	田園地区	・今後とも農業環境の維持、向上を図りながら、農地と集落による田園景観の保
	-	全を図ります。
		<ul><li>●幹線道路の整備</li><li>・幹線道路については、通学路になっているなど優先性の高い順に自転車歩行</li></ul>
		者道の設置などを進め、歩行者及び自転車の安全性の向上を図ります。
		・南北方向の動線が脆弱なため、南北方向の幹線道路を重点的に整備します。
		●生活道路の改善
		・主要な生活道路については、幹線道路との効率的な接続を図るとともに、地区
		内交通の安全性の向上を目指して、舗装、拡幅、隅切りなどの整備を進めま
		す。
		●自転車と歩行者の安全性の向上
		・駅周辺など自転車と歩行者が錯綜しやすい場所では、歩道上での分離、自転
		車レーンの設置などにより、自転車と歩行者をできるだけ分離するよう努めるも
交	通	のとします。
	~=	●駅周辺市街地でのより快適な歩行空間の整備
		・街路樹や花壇による緑化、案内板の設置などにより、より快適な歩行空間整備
		を目指します。
		■●駅周辺での駐車場・駐輪場の整備
		・JR高崎線の利用促進のため、駅周辺での駐車場、駐輪場の充実に努めるとと
		もに、違法駐車、駐輪の抑制に努めます。
		●公共交通の充実 ・八サ六涌が維持できることが其大にした トで できるだけきめ知かね八サ六涌
		・公共交通が維持できることを基本にした上で、できるだけきめ細かな公共交通 を実現するために、多様な主体による地域公共交通のあり方やバス利用促進
		を表現するにめに、多様な主体による地域公共交通のあり万やハス利用促進   策などについて検討していきます。
		■ RACCCOVC機能していきまり。 ■・市内の鉄道の利便性の向上のため、JR高崎線の運行本数の増加や岡部駅始
		・
		元はに外担刑心ノハッノセコエに因り包女明で因所成例に111'まり。

			●中心市街地での憩いの空間の創出
			・建築物のセットバックなどにより、オープンスペースを確保できるよう努めます。 ● ◆ # # 4
			●新規公園の整備と既存公園の改善・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
			・公園の配置バランスを踏まえつつ、市民に身近な新規公園整備を目指しま す。
			・既存の公園について、必要に応じて改修、改善などを加え、より利用しやすい
			公園としていきます。
公	園 •	緑地	●地域との協働による維持・管理
			・河川敷や公園について、清掃、緑化、不法投棄防止パトロールなどの維持、管
			理を市と地域で役割分担を図りながら、地域と協働で行います。
			・唐沢堤の桜については、桜を良好な状態で維持できるよう、段階的な植え替え
			などを含め市民とともに維持、管理を行います。
			●緑化の推進
			・道路や公園、公共施設などの公共空間においてできるだけ緑化を推進すると
			ともに、民有地での生垣化や花木の緑化を働きかけます。
			●市の PR・交流窓口の創出
			・本市の玄関口である深谷駅周辺に、市民と協働で観光案内機能の強化、レン
			タサイクル、特産物の販売所などの機能配置の検討を行います。
			●自転車による交流ネットワークの創出
			・都市計画道路の自転車歩行者専用道路などを活用しつつ、主要な観光スポッ
交		流	トや公園緑地を結ぶ周遊ルートを設定し、案内板などのサインの整備も行い、
			自転車ネットワークの形成を目指します。
			●公民館での活動の充実
			・各公民館を活用し、施設周囲のスペースの広場的な活用、地域住民活動の拠
			点としての参加プログラムを実施するなど、市民の集いの場として機能させる取
			り組みを進めます。
			●中山道周辺地区での歴史的景観形成の推進
			・中山道沿道、周辺地区は、歴史的な景観資源(近代建築、蔵、レンガ煙突など)
			も多いため、景観形成ガイドラインの作成を進め、歴史的まちなみの継承を促
			進します。
			・道路や街灯などのデザイン化も検討し、歴史的な雰囲気を醸し出す調和のとれ
そ	の	他	たまちなみ形成を図ります。
			・民間の歴史的建造物が保全、活用されるよう、歴史的建造物の登録、保全制度
			を検討します。
			●ユニバーサルデザイン化の取り組みの推進
			・深谷駅から周辺市街地の公共公益施設へのアクセス路について、道路などの
			バリアフリー化を進めます。

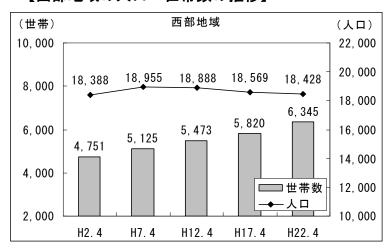


#### 2-3 西部地域

#### (1) 地域の現況特性

- ・西部地域は、藤沢地区と岡部地区の南西側のほぼ全域市街化調整区域から構成される地域です。
- ・平成22年4月時点の西部地域の人口は18,428人、世帯数6,345世帯であり、世帯数は増加傾向ですが、人口はほぼ横ばいです。
- ・櫛挽の防風林など特徴的な田園景観も広がり、緑豊かで、のどかな風景の地域となっています。
- ・幹線道路としては、南北方向に一般県道花園本庄線、一般県道寄居岡部深谷線、一般県道深 谷寄居線、一般県道深谷嵐山線が、東西方向に一般県道熊谷児玉線が通っています。また、 東西方向には、都市計画道路榛沢通り線が位置づけられています。
- ・関越自動車道寄居パーキングエリアにおいて、ETC専用のインターチェンジの設置が計画 されています。
- ・主な公園、緑地としては、仙元山公園、深谷グリーンパーク・パティオ、ふかや緑の王国、 榛の森公園があります。また、地域西側にゴルフ場及びまとまった丘陵地があります。

#### 【西部地域の人口・世帯数の推移】





深谷グリーンパーク・パティオ



ふかや緑の王国

	地域別懇談会での主な意見	課題
	【土地利用のコントロール】	・営農環境の保全を図りつつ、市街化調整区域
	・大規模農地の中での虫食い的な住宅開発が問題	でも、道路、排水施設の一定の水準を満たした
	となっている。	地区において、コミュニティの維持に必要な一
±	・農村と共存共栄の都市として、しっかりとした土地	定の住宅整備などを行えるようにすることが必要
地	利用のルールが必要である。	です。
利	・若い世代が地元に戻ってこられるような対策が必	
用	要である。	
1		・地区単位で公民館が整備されており、これらの
	・子どもやお年寄りが楽しめる身近な施設が望まれ	施設を活用して、子どもや高齢者のためのプロ
	న <u>ి</u>	グラムや設備などを充実することが必要です。
	【交通インフラの整備など】	・幹線道路については、歩道の充実を図るととも
	・通過交通の多い主要道路には安全な歩道を確保	に、生活道路については、交差点の隅切り、舗
	するべきである。	装、拡幅などの改善が必要です。
	・花園インターチェンジから岡部地区をつなぐ道路	・新規の道路整備については、市全体の幹線道
交	を整備してほしい。	路体系の中で検討することが必要です。
通	・スマートインターチェンジの計画は重要である。	・市民生活の利便性向上と観光の観点から自転
体	・自転車ネットワークは、住民の生活と連動させてほ	車ネットワークを形成することが必要です。
系	しい。	ハルカスの大中に台北マは、夕塔みを仕にして
	【くるリンバスの充実】 ・お年寄りの移動手段として、くるリンバスを利用し	・公共交通の充実に向けては、多様な主体による地域の公共交通を支える新たな仕組みづくりも
	やすくしてほしい。	地域の公共交通を文える利にな仕組みづくりも     視野に入れ検討することが必要です。
	・コミュニティ施設への公共の交通手段を確保して	7元封(こ)への規則することが必安です。
	施設を利用しやすくしてほしい。	
	【公園の利便性向上】	・公園の配置バランスを踏まえ整備を行うととも
公田	<ul><li>子どもなどが遊べる公園がない。</li></ul>	に、既存公園の改善などにより、より利用しやす
園	・公園などで市民が管理する仕組みが望まれる。	い公園としていくことが必要である。
· 緑	・施設などの利用者は限られており、参加率を上げ	・公園の維持、管理、利用率の向上については、
地	るための仕組みと内容を考える必要がある。	市民との協働による運営、維持管理方策の検討
*65		が必要です。
	【岡部地区の活性化】	・市内の鉄道の利便性向上のため、鉄道輸送力
	・岡部地区では商店街が縮小している。	の増強に関する要請を関係機関に行うことが必
	・新たな人口を呼び込むために岡部駅の始発化や	要です。
	部分的な宅地化が望まれる。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	【農業の活性化】 ・深谷の基幹産業としての農業を道の駅などでアピ	・農業振興担当部署と連携しながら、体験農園としての活用や、農業振興策を推進することが必
	・休台の茶軒座来としての農業を担の駅などですこ	要です。
そ	・遊休農地の問題は、新規就農者の受け入れなど	女にり。
の	を考えていくべきである。	
他		・まちづくりの様々な場面で、市民の協力を得な
	<ul><li>・住んでいる人が満足できるまちづくりが重要である。</li></ul>	がら、市と協働で行えるようなしくみを作っていく
	న <u>ి</u> .	ことが求められています。
	・シルバー人材などを組織化して活用する仕組み	
	が望まれる。	
	・昔は地域コミュニティが活発だったが、今は交流が	
	少ない。	

#### (3) 地域の将来像

### 市民とともに創る花と緑あふれる田園地域

- ○市域を代表するレクリエーション施設である仙元山公園、深谷グリーンパークや、市民が 守り育てる市民の森であるふかや緑の王国が地域内にあり、これらの緑の資源を良好な状 態で永続的に維持できるよう市民と協働して取り組みます。
- ○安全な道路及び自転車ネットワークの充実、公共交通などにより、地域の移動を多様な手 段で確保することで、西部地域の交流人口の増加と活性化を図ります。

(4	(4) 地域の整備方針				
土地利用	集	落	<ul> <li>●地区単位でコミュニティ拠点の形成</li> <li>・藤沢、岡部の各地区においては、公民館などの公共公益施設と日常的な生活利便施設などが集まり、地区コミュニティの中心となる拠点の形成を目指します。</li> <li>●集落部の環境改善</li> <li>・集落部については、集落内の道路、排水施設などの生活環境の整備を進め、コミュニティを維持できる居住環境の形成を図ります。</li> </ul>		
	田地	園区	<ul> <li>・今後とも農業環境の維持、向上を図りながら、農地と集落による田園景観の保全を図ります。</li> <li>・スマートインターチェンジの配置などによる土地利用のニーズを見極めながら周辺環境に配慮した土地利用を検討します。また、一般国道 140 号バイパス周辺地域については、土地需要動向などの把握に努め、周辺環境に配慮した計画的な工業系土地利用の誘導を図ります。</li> <li>●櫛挽の景観保全</li> <li>・「ふるさとの緑の景観地」に指定されている櫛挽の防風林について、特徴的な田園景観を継承するため、今後も保全の支援を行います。</li> </ul>		
交		通	<ul> <li>●幹線道路の整備</li> <li>・幹線道路については、通学路になっているなど優先性の高い順に、自転車歩行者道の設置などを進め、自転車及び歩行者の安全性の向上を図ります。</li> <li>・幹線道路の整備は、市全体の道路体系の中で検討します。</li> <li>●生活道路の改善</li> <li>・主要な生活道路については、舗装、拡幅、隅切りなどの整備を進めます。</li> <li>●公共交通の充実</li> <li>・公共交通が維持できることを基本にした上で、できるだけきめ細かな公共交通を実現するために、多様な主体による地域公共交通のあり方やバス利用促進策などについて検討していきます。</li> <li>・市内の鉄道の利便性の向上のため、JR高崎線の運行本数の増加や岡部駅始発など</li> </ul>		

鉄道輸送力の増強に関する要請を関係機関に行います。

#### ●既存公園の改善

・既存の公園について、必要に応じて改修、改善などを加え、より利用しやすい公園と していきます。

#### ●地域との協働による維持・管理

#### 公園・緑地

・河川敷や公園について、清掃、緑化、不法投棄防止パトロールなどの維持、管理を 市と地域で役割分担を図りながら、地域と協働で行います。

#### ●緑化の推進

・道路や公園、公共施設などの公共空間においてできるだけ緑化を推進するとともに、 民有地での生垣化や花木の緑化を働きかけます。

#### ●自転車による交流ネットワークの創出

交 流

・西部地域の公園などをサイクリングでめぐり、田園環境を楽しめる周遊ルートを設定し、案内板などのサインの整備も行い、自転車ネットワークの形成を目指します。あわせて公共公益施設などの拠点施設間を結ぶ日常生活の利便性の向上に資する自転車ネットワークの形成を図ります。

#### ●公民館での活動の充実

・各公民館を活用し、施設周囲のスペースの広場的な活用、地域住民活動の拠点としての参加プログラムを実施し、市民の集いの場として機能させる取り組みを進めます。

#### ●農業による交流

・農に親しむ場や地域活動の場として、体験農園などの拡充を検討します。

### 西部地域 地域整備構想図

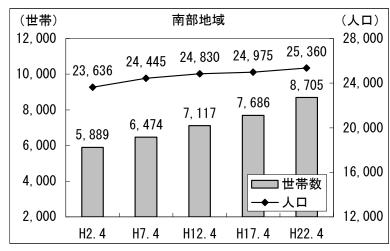


#### 2-4 南部地域

#### (1) 地域の現況特性

- ・南部地域は、川本地区と花園地区にあたる秩父線沿線を中心とした地域であり、地域内に秩 父線の明戸駅、武川駅、永田駅、小前田駅の4駅があります。
- ・平成22年4月時点の南部地域の人口は25,360人、世帯数8,705世帯であり、中央地域に次いで人口が多く、人口、世帯数ともに増加傾向です。
- ・都市計画としては、深谷都市計画区域と寄居都市計画区域からなり、川本地区の区域では市 街化区域と市街化調整区域から構成され、花園地区の区域では、非線引きの用途地域指定区 域と用途地域指定外から構成されています。
- ・市内唯一の関越自動車道の花園インターチェンジがあり、広域幹線道路として一般国道 140 号バイパス、一般国道 254 号があります。都市幹線道路としては、一般国道 140 号、一般県道深谷嵐山線、一般県道深谷寄居線が通っています。
- ・主な公園として、埼玉県農林公園、川本サングリーンパーク、花園総合運動公園、白草台運動公園があります。
- ・自然資源としては、地域の中央を東西に荒川が流れており、冬場は白鳥の飛来地として有名です。また、ふるさとの森として整備された鐘撞堂山があり、秋には霧ヶ谷津池で紅葉が見られます。地域の南端は丘陵地となっており、地域森林計画対象民有林\*となっています。
- ・ 荒川周辺では、埼玉県指定史跡の鹿島古墳群や源頼朝に仕えた畠山重忠の墓など、本市の中でも地域固有の遺跡が残っています。

#### 【南部地域の人口・世帯数の推移】





荒川の白鳥



鐘撞堂山

	地域の課題地域別懇談会での主な意見	·
	- 地域別愁談会での主な息見 【市街化調整区域の土地利用】	課 題 ・営農環境の保全を図りつつ市街化調整区域で
±	・住宅などが建てられる環境を整えるべきである。 ・バイパス沿いでは計画的な開発をしてほしい。	も、道路、排水施設の一定の水準を満たした地区において、コミュニティの維持に必要な一定の 住宅整備などを行えるようにすることが必要です。
地利用	【生活利便施設の充実】 ・支所の空き部屋の有効活用をすべきである。 ・児童館や医療施設、身近な商業施設の導入が 望まれる。	・支所や公民館などの施設を活用して、子どもや 高齢者のためのプログラムや設備などを充実す ることが必要です。
	【インターチェンジの有効活用】 ・花園インターチェンジの有効活用や周辺開発 などをするべきである。	・花園インターチェンジ周辺では、広域の交通利 便性を活かした機能配置が必要です。
交	【交通インフラの整備】 ・南北軸を整備して強化してほしい。 ・身近な道路を整備して安全にしてほしい。 ・遊歩道やサイクリングロードの計画も望まれる。	<ul><li>・市全体として南北方向の動線の強化が重要です。</li><li>・幹線道路については、歩道の充実を図るとともに、生活道路については、交差点の隅切り、舗装、拡幅などの改善が必要です。</li><li>・地域の観光資源の活用や交流人口の増加のためにも、自転車ネットワークの整備が重要です。</li></ul>
通体系	【秩父線の駅周辺の活性化】 ・小前田駅、永田駅、武川駅に北口を設置し、北口側へアプローチできるようにしてほしい。 ・駅前に商店が少ないため、商業が集積するような環境整備ができるとよい。	・鉄道という貴重な資源を最大限活用するために も、駅利用者の増加策と駅周辺の整備をあわせ て進めていくことが必要です。
	【くるリンバスの充実】 ・くるリンバスの目的地を利用価値のある所にしてほしい。 ・深谷地区との交通手段を考えてほしい。	・公共交通の充実に向けては、多様な主体による 地域の公共交通を支える新たな仕組みづくりも視 野に入れ検討することが必要です。
公園·緑地	【公園・河川敷の充実】 ・農林公園の充実及び市全体に対する認知度を 高め、利用者を増やすべきである。 ・鐘撞堂山は地盤が弱いので、自動車の進入を 制限したい。 ・荒川沿いの遊歩道化やその沿道に植樹をし、 水辺公園などを観光資源として活用したい。	<ul><li>・市の観光資源のより有効なPRの方法を検討することが必要です。</li><li>・公園、緑地などの利用促進や維持、管理の質を高めていくためには、市民との協働により行っていくことが望まれます。</li></ul>
	【安全・安心なまちづくり】 ・下水道などを整備してほしい。 ・防犯灯を設けるなど、通学面での安全性を確保してほしい。	・地区ごとの特性に応じて、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の設置により、公衆衛生の向上や河川の水質保全が必要です。 ・犯罪の起こりにくい環境にするため、照明や見通しの確保が重要です。
そ	【農業の活性化】 ・農業を守る施策や遊休農地の対策が必要である。 ・観光農業を促進するべきである。	・農業振興担当部署と連携しながら、体験農園の整備や農業振興策を推進することが必要です。
の他	【中心部との連携】 ・合併を活かして地域間の交流を促進するべきである。 ・都市機能の軸として深谷の中心部とつながるものが必要である。	・道路や自転車のネットワークの強化により、交流 の基盤となる動線を確保することが必要です。
	【まちづくり全般】 ・深谷で育った人間が、ずっと住み続けられる魅力ある地域でありたい。 ・地域で支え合えるまちづくりができたら良い。	・深谷が多くの人に愛されるまちとなるために、人とのつながり、生活環境や景観的な魅力の向上、就業の場の確保など多様な取り組みが必要です。

#### (3) 地域の将来像

### 自然景観と交通環境を活かした多彩な交流地域

- ○地域の中央を秩父線が通り、さらに自動車専用道路の関越自動車道や一般国道 140 号バイパスなど広域幹線道路も充実しており、交通環境に非常に恵まれていることから、この交通の優位性と様々な山・川・田園の緑と歴史の資源を活用して、多くの人に訪れてもらえる地域づくりを市民と協働して取り組みます。
- ○深谷地区や岡部地区との道路ネットワークの強化や地域間の交流を促進し、市域の一体性 を高めていきます。

#### (4) 地域の整備方針

	The state of the s		
		●日常のサービスに資する商業や生活利便施設の集積	
	地域サービス	・武川駅及び小前田駅周辺の商業地については、地域住民への日常の生活サ	
	地 区	ービスに資する機能の充実を目指し、駅周辺の基盤整備を行うとともに周辺地	
	(武川駅・小	域の拠点的な役割を担う地区としての集積を図ります。	
	前田駅周辺)	・駅へのアクセス性の向上などにより交通利便性を高め、駐車場や駐輪場の整	
		備などにより交通結節点としての機能強化を図ります。	
		●良好な居住環境の維持・形成	
	計画住宅	・武川中央、小前田駅北西部などの土地区画整理事業区域や公的宅地開発地	
	地 区	区については、既存の基盤を活かして良好な居住環境の維持、保全に努める	
	(基盤整備済•	とともに、地権者などの合意形成が図られる地区については、地区計画や建築	
	施行中含む)	協定などを活用し、宅地周りの緑化や調和のとれたまちなみ形成を目指しま	
		す。	
		●生活基盤の整備及び居住環境の改善	
		・市街化区域及び用途地域内の既成市街地で、道路、公園などの基盤が不足	
		している地区については、生活道路の拡幅や公園、緑地の整備を順次進める	
	一 般 住 宅   地 区	ことにより、居住環境の改善に努めます。	
±	地区	・地区計画が定められている川本中央地区については、区域の整備、開発及び	
地		保全の方針に基づき、市街化を計画的にコントロールするとともに、必要な地	
利		区施設の整備を行い、良好な市街地形成を図ります。	
用用		●工業施設の分布や工業地域での配置を維持	
713	工業地区	・工業の立地、集積が進んでいる地区及び用途地域が工業専用地域の地区に	
	工未地区	ついては、その機能を維持し、今後も周辺環境及び環境保全に配慮していくも	
		のとします。	
		●交流と連携による活性化拠点形成	
		・花園インターチェンジ周辺地区は、広域からの集客力を高める機能とともに、	
		他の都市を含め、観光や農業など、その都市独自の資源や市民の交流、連携	
	花園インター	機能を有する広域的な活性化拠点の形成を進めます。	
	チェンジ周辺	・この拠点形成にあたっては、周辺地域の環境への調和や円滑な交通処理など	
	地 区	に十分配慮します。	
		・沿道サービス型商業施設が集積している一般国道 140 号バイパス沿道地区に	
		ついては、現在の機能の維持に努め、花園インターチェンジ周辺地区との相	
		乗効果を図ります。	
		●集落部の環境改善	
	集落	・集落部については、集落内の道路、排水施設などの生活環境の整備を進め、	
		コミュニティを維持できる居住環境の形成を図ります。	
	田園地区	・今後とも農業環境の維持、向上を図りながら、農地と集落による田園景観の保	
		全を図ります。	

	I				
±					●工業系土地利用の誘導・周辺環境への配慮
地					・花園インターチェンジ周辺及び一般国道 140 号バイパス沿道など、交通利便
利	田	袁	地	区	性の高い地域や工業機能の集積に適している地域については、土地需要動
用用					向などの把握に努めるとともに、周辺環境に配慮した計画的な工業系土地利
П					用の誘導を図ります。
					●幹線道路の整備
					・幹線道路については、通学路になっているなど優先性の高い順に自転車歩行
					者道の設置などを進め、自転車及び歩行者の安全性の向上を図ります。
					・東西動線と比べ、脆弱な南北動線を強化するため、南北方向の幹線道路の整
					備について検討を行います。
					●生活道路の改善
					・主要な生活道路については、幹線道路との効率的な接続を図るとともに、地区
					内交通の安全性の向上を目指して、舗装、拡幅、隅切りなどの整備を進めま
					す。
交				通	■ 2° ●駅周辺での駐車場・駐輪場の整備
					・秩父線の利用促進のため、駅周辺での駐車場、駐輪場の充実に努めるととも
					に、違法駐車、駐輪の抑制に努めます。
					で、建仏祖平、紀代の元字、のより。
					● 公共文通の元美 ・公共交通が維持できることを基本にした上で、できるだけきめ細かな公共交通
					を実現するために、多様な主体による地域公共交通のあり方やバス利用促進
					を
					・市内の鉄道の利便性の向上のため、秩父線の運行本数の増加など鉄道輸送 力の増強に関する要請を関係機関に行います。
					●荒川の有効活用
					・荒川を観光資源として、より有効に活用するために、遊歩道の整備や公園の充
					実などについて管理主体に要請します。
					●新規公園の整備と既存公園の改善の関係を見れる。
					・公園の配置バランスを踏まえつつ、市民に身近な新規公園整備を目指しま
					す。
					・既存の公園について、必要に応じて改修、改善などを加え、より利用しやすい
	_		43	1.1	公園としていきます。
公	遠	•	緑	地	
					・市域の南部に位置する丘陵部や西部の鐘撞堂山については、市内において
					貴重なボリュームのある緑であり、今後とも保全します。
					●地域との協働による維持・管理
					・河川敷や公園について、清掃、緑化、不法投棄防止パトロールなどの維持、管
					理を市と地域で役割分担を図りながら、地域と協働で行います。
					●緑化の推進
					・道路や公園、公共施設などの公共空間においてできるだけ緑化を推進すると
					ともに、民有地での生垣化や花木の緑化を働きかけます。
					●自転車による交流ネットワークの創出
					・南部地域の歴史資源や公園などをサイクリングでめぐり、田園環境を楽しめる
					周遊ルートを設定し、案内板などのサインの整備も行い、自転車ネットワークの
					形成を目指します。
交				流	●公民館での活動の充実
^				7716	・各公民館を活用し、施設周囲のスペースの広場的な活用、地域住民活動の拠
					点としての参加プログラムを実施し、市民の集いの場として機能させる取り組み
					を進めます。
					●農業による交流
					・農に親しむ場や地域活動の場として、体験農園などの拡充を検討します。

